

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却については、法人税法の規定による定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準について

事務局職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく要支給額により計上している。

(3) 消費税等の処理について

税込方式によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
応接セット (H2. 3)	700, 000	699, 999	1
看板 (H2. 3)	236, 900	236, 899	1
パソコン (H9. 8)	448, 854	448, 853	1
パソコン (H16. 7)	179, 975	179, 974	1
プリンタ (H17. 6)	133, 350	133, 348	2
シュレッダ (H17. 6)	168, 000	167, 995	5
プリンタ (H18. 10)	31, 030	30, 719	311
ノートパソコン (H19. 10)	106, 654	106, 653	1
プロジェクタ (H19. 11)	102, 900	102, 899	1
デスクトップ (H20. 3)	53, 915	53, 914	1
デスクトップ (H26. 3)	179, 800	125, 110	54, 690
合 計	2, 341, 378	2, 286, 363	55, 015

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
特定預金資産 1	2, 001, 508	405	0	2, 001, 913
特定預金資産2	400, 000	72	0	400, 072
退職給与引当資産	2, 921, 968	582	0	2, 922, 550
合 計	5, 323, 476	1, 059	0	5, 324, 535

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(指定正味財産 からの充当額)	(一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
特定預金資産1	2, 001, 913	(0)	(2, 001, 913)	—
特定預金資産2	400, 072	(0)	(400, 072)	
退職給与引当資産	2, 922, 550	(0)	(0)	(2, 922, 550)
合 計	5, 324, 535	(0)	(0)	(2, 922, 550)

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

注記3に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給与引当資産	2, 921, 968	582	0	2, 922, 550